# 医療安全情報 2017 年 12 月号　　〔総数7件〕

サービス推進室

サービス推進室では、医療事故･訴訟等に関する記事や医療安全に役立つ情報を、ニュース配信を行っている会社から提供を受けて、「医療安全情報」として提供しています。

## がん検診結果10カ月未郵送、精密検査に影響

原爆被爆者の健康診断を自治体から受託している医療センター（以下、センター）は1日、昨年にがん検診を受けた受診者10人に対し約10カ月間、結果を送っていなかったと発表した。うち3人は精密検査が必要だったが、その後の検査などで問題はなかったとしている。　センターは昨年9～10月、9人にがん検診、2人に精密検査を実施。通常なら
除き送付しておらず、今年9月末ごろ、受診者から
治体が5月に送付状況を確認した際、業者は「
契約に反して送付事務など

多臓器不全で亡くなった。 血小板濃厚液は血
る症状に用いられる。 通知は都道府県や保健所を
常がある場合は使用しないことや、輸血中は患者の観察
を十分に行うことも注意喚起。輸血する場合は、感染症のリスクについて患者や家族 に文書で説明し、同意を得ることを求めている。使用された血小板濃厚液は献血から作られており、日赤は「各種の安全対策を実施していたにもかかわらず、このような事例が発生したことは誠に残念。厳粛に受け止めている」とコメントしている。

※平成 29 年 12 月 4 日通知「人血小板濃厚液の使用時の安全確保措置の周知徹底について」
http://www.pmda.go.jp/files/000221567.pdf